

目次/編集方針

トップメッセージ

グループ概要

ニコンのCSR

事業を通じた
社会への貢献環境問題
への対応

CSRの基盤強化

社会貢献活動

データ集ほか

>ニコンの環境経営 >環境推進体制 >低炭素化の推進 >資源循環の推進 >健康と安全への配慮

環境問題への対応

地球との共存共栄を経営の最重要課題のひとつととらえ、持続可能な社会の構築に貢献していきます。

重点課題

- 4 低炭素化の推進 [▶P51](#)
- 5 資源循環の推進 [▶P57](#)
- 6 健康と安全への配慮 [▶P64](#)

社会課題背景

昨今、気候変動をはじめとするさまざまな環境問題が世界的に喫緊の課題となっています。SDGsやCOP21（パリ協定）などで、持続可能な社会の構築に向けた国際的な対策が整備されつつある中、企業に求められる役割はますます大きくなってきています。

担当役員メッセージ

ニコンは「低炭素社会の実現」「資源循環型社会の実現」「健康で安全な社会の実現」を環境長期ビジョンとして位置付け、それを実現すべくさまざまな活動を推進していきます。生産設備の低炭素化はもとより、技術力を活かして開発・生産プロセスを効率化し、エネルギーや資源の効率的利用や廃棄物削減など環境負荷低減を推進していきます。また世界の平均気温上昇を産業革命から2℃未満に抑えるという、いわゆる2℃目標の達成に寄与すべく、SBTの設定や低炭素なエネルギー・電力の活用（再生可能エネルギー含む）にも取り組んでいます。

取締役 兼 常務執行役員 人事・総務本部長 環境委員会委員長 小田島 匠

ニコンの環境経営

ニコングループは、健全な地球環境を未来の世代に引き継ぐため、環境活動を展開しています。

環境管理活動の基本姿勢

ニコングループでは、環境長期ビジョン・環境中期目標・環境3年計画・環境アクションプランを定め、持続可能な社会の発展に向け、体系的に環境活動を展開しています。これらの目標や計画の策定にあたっては、事業活動における環境との関わりを明確にし、環境負荷や環境リスクの大きさを的確に把握することで優先順位を付けています。

■環境に関するリスクとその対応

ニコングループは、製品およびサービスのライフサイクルの視点から環境に関するリスクと機会を特定しています。特定したリスクと機会は環境目標に反映させ、具体的な取り組みに展開しています。また、その進捗を定期的に確認・フォローすることでPDCAサイクルを回しています。

環境に関するリスクとしては、次の2つを認識し対応を行っています。

目次/編集方針

トップメッセージ

グループ概要

ニコンのCSR

事業を通じた
社会への貢献環境問題
への対応

CSRの基盤強化

社会貢献活動

データ集ほか

>ニコンの環境経営 >環境推進体制 >低炭素化の推進 >資源循環の推進 >健康と安全への配慮

気候変動に起因するリスクと対応

洪水や渇水など、気候変動に起因する自然災害により、ニコングループの開発・生産拠点、および調達先などに甚大な損害が生じた場合、操業が中断して生産や出荷が遅延する恐れがあります。これによる売上げ減少や復旧のために多大な費用が生じた場合、グループ収益と財政状況に悪影響を及ぼす可能性があると認識しています。

ニコングループでは、こうした気候変動によるリスクを低減するため、生産拠点や調達先の分散などの取り組みを行っています。

環境規制リスクと対応

エネルギーや温室効果ガス、大気、水質、土壌、化学物質、廃棄物に関する法規制の違反は、操業停止や原状回復費用の発生、企業評価の低下など、ニコングループの経営に影響を及ぼすリスクとなります。また、法規制はさらに強化される可能性があり、遵守のために対応費用が多額となった場合、グループの財政状況に悪影響を及ぼす可能性があります。

ニコングループでは、こうしたリスクに備え、規程類の整備や改訂、管理体制の強化、担当者の教育などを実施しています。また各地域の法規制よりも厳しい自主基準を設けることで、環境汚染の未然防止に努めています。

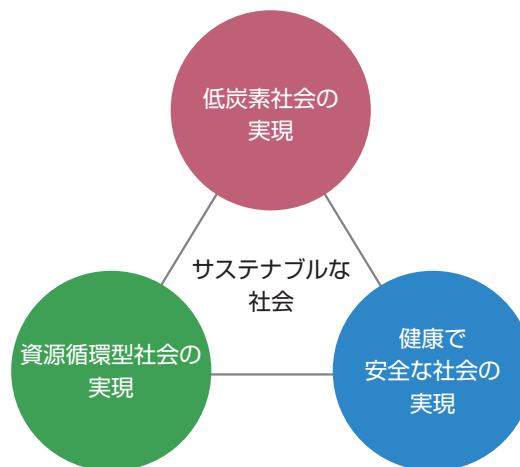
環境の長期ビジョンと中期目標の策定

ニコングループでは、環境リスクや規制に積極的に対応していくため、2016年4月に数十年先の未来を見据えた「ニコン環境長期ビジョン」を策定しました。

このビジョンでは、世界の状況や、限りある資源を使用して製品を製造・販売しているというニコンの事業の性質から、特に重要と考えられる3つを柱として設定しています。

ニコン環境長期ビジョン

ニコングループは、「低炭素社会の実現」「資源循環型社会の実現」「健康で安全な社会の実現」を環境長期ビジョンとして位置付け、サステナブルな社会の構築に貢献していきます。



環境中期目標

ニコングループでは、環境長期ビジョンの実現に向け、2030年までに取り組むことを「ニコン環境中期目標」に定めています。3つの柱それぞれの目標は次の通りです。

「低炭素社会の実現」に関する中期目標

- ・ サプライチェーン全体で、CO₂排出量を2013年度比で26%削減する
- ・ 気候変動対策に資する技術開発などに取り組む

「資源循環型社会の実現」に関する中期目標

- ・ 製品の企画段階から環境への影響を考慮し、製品のライフサイクルを通じて、資源循環型社会実現に向けて努力する
- ・ 事業活動において、環境負荷の少ない資源の活用を強化し、廃棄物の削減に努めるとともに、循環資源化率のさらなる向上に取り組む

「健康で安全な社会の実現」に関する中期目標

- ・ 地域の自然環境の維持と、快適な生活の提供をめざす
- ・ 各国・各地域の法令・規制などを確実に遵守することはもとより、自主目標を定め、化学物質の使用を適切に管理する

■環境3年計画と環境アクションプラン

ニコングループでは、環境中期目標の達成に向け、「環境活動方針」を定め、具体的な内容を「ニコン環境3年計画」に落とし込んでいます。その3年計画の1年目を「環境アクションプラン」と位置付け、ニコングループ全体へと展開しています。

また、実績に対しては、自己評価を環境委員会にて審議、承認するとともに、抽出した課題をもとに、次年以降の活動を見直しています。

▶環境活動方針

https://www.nikon.co.jp/sustainability/environment/environment_policy.pdf

環境アクションプラン2018年3月期実績[概要]

自己評価 ○:達成 △:着手したが未達成

重点活動テーマ		2018年3月期目標	実績	自己評価	該当ページ	
低炭素社会	事業所環境 温室効果ガス削減 (エネルギー起源CO ₂)	・2020年3月期において、2014年3月期比5.85%以上削減のための活動実施	・2014年3月期比で13.4%削減し、目標を前倒しで達成	○	P53	
	製品環境	製品の環境負荷低減 (資源効率の向上)	・LCA手法を活用した環境影響評価推進 ・製品のライフサイクルにおけるCO ₂ 排出量を削減する(削減目標値は事業部門毎に設定)	・LCA評価対象機種拡大 ・事業部門ごとに製品の最大負荷ステージのCO ₂ 排出量削減施策推進	○	P48
		物流対策	・CO ₂ 排出量の可視化範囲拡大 ・国際間物流での積載率向上、モーダルシフトの推進 ・国内物流経路の効率化	・CO ₂ 排出量算出データ収集 ・船便輸出率が前年より向上 ・国内物流の施策継続	○	P56
資源循環型社会	事業所環境 廃棄物削減 (ゼロエミッション)	・ニコンおよび国内グループ生産会社:レベルS維持 ・中国生産会社:レベル1維持	・レベルSを維持 ・レベル1を維持	○	P60	
	事業所環境 廃棄物削減 (有価物除く)	・ニコンおよび国内グループ生産会社において、前年度排出量以下	・2017年3月期排出量3,363トンに対し、実績3,187トン(-5.2%)	○	P60	
	製品環境 森林資源の保全	・ニコンのロゴマークが印刷されている紙媒体について、新規作成分のFSC認証紙化を推進する	・製品カタログ:国内新規作成分は、特殊紙を除き100% FSC化対応 ・取扱説明書:国内新規作成分より順次FSC認証紙化対応	○	P61	
健康で安全な社会	事業所環境 地域環境活動	・地域環境活動への参加率向上 ・生物多様性活動について、2017年3月期に策定した計画に基づき実施する	・ニコン地域環境活動への従業員参加延人数 国内従業員の16.6% (2017年3月期:12%) ・各地区における生物多様性保全活動と次年度以降の計画について調査を実施	○	P68	
	製品環境 有害化学物質の削減等	・各国の有害化学物質法規制 (RoHS、REACH等)の遵守継続	・海外グループ会社製造品にRoHS指令不適合があり、グループ全体に再発防止対策を実施	△	P65	

環境アクションプラン2019年3月期目標【概要】

重点活動テーマ		2019年3月期目標	
低炭素社会	事業所環境	温室効果ガス削減 (エネルギー起源CO ₂)	・事業所のCO ₂ 排出量を2014年3月期比で14.4%以上削減★ ・再生可能エネルギー動向調査★ ・SBT設定★
	製品環境	製品の環境負荷低減 (資源効率の向上)	・LCA手法を活用した環境影響評価推進★ ・環境配慮製品の創出
		輸送における 環境負荷低減	・CO ₂ 排出量の継続的把握 ・国際間物流での積載率向上、モーダルシフトの推進 ・国内物流経路の継続的見直し
資源循環型社会	事業所環境	ゼロエミッション	・ニコンおよび国内グループ生産会社:レベルS維持★ ・中国生産会社:レベル1維持★
		廃棄物削減 (有価物除く)	・ニコンおよび国内グループ生産会社:前年度排出量以下 ・化学物質の再利用の施策推進★
		水の適正使用と 有効利用の推進	・各地区の水リスクの程度に合わせた水利用効率向上の目標策定★
	製品環境	リデュース・リユース・ リサイクルの推進	・製品と部品、材料の再利用推進★
健康で安全な社会	事業所環境	化学物質の環境影響 低減活動	・ニコングループ化学物質管理ガイドラインに基づく活動の推進★
		地域活動等	・事業活動や地域のニーズと合わせて生物多様性を考慮し、地域貢献活動を実施
	製品環境	有害化学物質の削減等	・各国の有害化学物質法規制(RoHS指令、REACH規則等)の遵守継続★ ・chemSHERPA本格運用開始★
		生物多様性の 保全活動推進	・ニコンのロゴマークが印刷されている紙媒体について、新規作成分のFSC認証紙化を推進する★
		グリーン調達	・調達パートナーに対するニコングリーン調達の監査業務の効率化★

★はCSR重点課題の3～5年ですべきことに対応する単年目標です。